



私の視点「なぜここを質問したか」

自治体DXの推進は行政サービスの向上と持続可能な行政運営の実現のための重要な取組である。自治体DXの現在地と今後の取組についてお尋ねしたい。

自治体DXの現状と今後の取組は

答弁(町長) 町民が住みやすさを実感できるデジタル社会の実現をめざす

やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員

録画配信は
こちらから▶



問 ②BPR(業務改革)の取組と業務のデジタル化の状況は。
答 総務課長
BPRについては、行政手続オンライン化は、52手続のうち約6割がオンライン化されている。業務デジタル化の面では、本

問 「宇美町自治体DX推進計画」の基本方針①窓口のデジタル化の現状は。
答 総務課長
※基幹業務システムの標準化に伴い「窓口支援システム」を導入した。データの活用により申請書記入の負担と職員の事務負担の軽減につながる。

問 「DX」「自治体DX」の意味は。
答 総務課長
「DX」はデジタル技術を使って仕事のやり方や仕組みを変え、価値を最大化すること。「自治体DX」は行政手続のデジタル化や行政内部のデータ連携などを通じて、住民の利便性向上と業務効率化を図るもの。

問 ③DXの推進状況は。
答 総務課長
基幹業務システムの統一・標準化は、一部の業務を除き、本年3月末までに全国共通の標準準拠システムへ移行した。行政手続オンライン窓口であるマイナポータルと基幹業務システムの連携も着実に推進している。

問 今後の自治体DXの取組は。
答 総務課長
本年3月に「宇美町デジタル活用推進計画」を策定した。これにより、町民の利便性向上と行政事務の効率化をより一層推進する。

問 コミュニティ、自治会、有害鳥獣、地域猫などの地域活動のDX化の考えは。
答 総務課長
各団体と対話し、デジタル技術も活用して地域の身近な課題を解決していきたい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

宇美町
オンライン申請
ポータルサイト



オンライン申請で
手続きもスムーズに

質問を終えて

国の調査では、本町は堅実に自治体DXを進めているという評価だ。DXの推進で「書かない・行かない窓口」の実現を期待したい。



私の視点「なぜここを質問したか」

放置竹林の拡大防止と地域の安全・安心の確保を図り、竹資源の有効活用による持続可能な地域循環の実現をめざすため。



こばやし たかお
小林 孝昭 議員

竹害対策と防災・地域循環施策の考えは

答弁(町長) 竹害対策と竹活用を研究していく

録画配信は
こちらから▶



問 本町の竹林面積と放置竹林の分布状況は。
答 都市整備課長
竹林面積は22.68haで、その大半が個人所有地である。竹林整備事業は実施しておらず、ほとんどが放置竹林の状態で、三原、障子岳、原田、井野など町内全域に繁茂している状況である。

問 放置竹林の拡大を防ぐための、今後の対策は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 放置竹林の拡大についての認識は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 竹粉砕機を、土地所有者などへ貸し出す考えは。
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。

問 中山間地の維持管理と地域循環を組み合わせ、竹害対策で
答 都市整備課長
竹粉砕機の活用も有効な手段であり、今年度導入を予定している。効率的な竹の処理を進めることで、放置竹林の拡大防止につながるかと考えている。

問 竹粉砕機を、土地所有者などへ貸し出す考えは。
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。

問 竹粉砕機を、土地所有者などへ貸し出す考えは。
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。

問 竹粉砕機を、土地所有者などへ貸し出す考えは。
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。

問 竹粉砕機を、土地所有者などへ貸し出す考えは。
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。

問 竹粉砕機を、土地所有者などへ貸し出す考えは。
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。

問 竹粉砕機を、土地所有者などへ貸し出す考えは。
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。



質問を終えて

竹粉砕機の導入と貸出制度の方向性が示され、中山間地の防災力向上と地域資源の有効活用が進むことを期待したい。

